［巻頭特集］本社は港区 株式会社服部家具センター

信頼のもとで53年 支持される家具店へ

「幸せとは、極限の努力をして勝ち取るものである」と服部光吉社長は語ります。昭和40年の創業以来、血のにじむような努力を重ね、会社を育ててきました。「現在のように多店舗展開できるとは、夢にも思っていなかった」と半世紀に及ぶ歴史を振り返ります。地域が誇る、服部家具センターに迫ります。

日本の柱を目指して開業 変革を重ね、成長を続ける

創業者である服部光吉社長は、昭和14年、飛島村に生まれます。健康優良児に表彰された際、中日新聞社社主に言われた「新日本建設の柱石になれ」という言葉に感銘を受け、深く胸に刻んだといいます。中学卒業後、親戚の家具店へでっち奉公に出ます。勉学意欲旺盛で、働きながら定時制の高校へ進学。仕事にも勉強にも打ち込みましたが、体力的・経済的に困窮し、2年で体調を崩してしまいます。弟が見舞いに来た時、「商売人になろう。商売人だって、日本の柱になれる」と打ち明けたのをきっかけに、2人で家具店創業を目指しました。

病から回復した光吉社長は、高校を中退。企画・販売で能力を発揮し、奉公先で高い売り上げ実績を残していきます。そば一杯50円の時代、目標の100万円を貯めるのに7年が経っていました。昭和39年、六軒家に133坪の土地を購入。鉄骨以外は自分たちの手で建設し、翌年6月、ついに開店を迎えます。時代は高度経済成長期。社屋に改装を重ね、少しずつ売り場面積を広げていきました。

アメリカへ研修視察に行った際、「これからは車社会がくる」と考えた光吉社長。名古屋包囲作戦と銘打ち、名古屋市近辺への展開に乗り出します。昭和48年、稲沢に2号店をオープン。仲介業者を挟まず、安く販売する方針が受け入れられ、1日で在庫が売れてしまうほどにぎわったといいます。

その後も熱田区、天白区などに続々と進出。家電量販店と店舗を共有して集客を図ったり、アウトレット家具の専門店を出したり、当時は無謀と思われた戦略を打ち出し、成功させていきました。現在は愛知・岐阜・三重・奈良・福井に23店舗、従業員数約280人の企業へと成長しています。

7

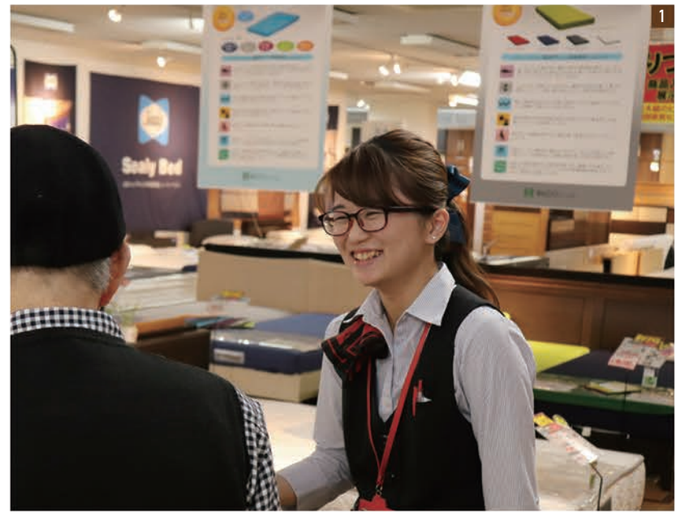
6

8

6.自らの手で店を建てる光吉社長 7.昭和40年創業時の写真。破格の値段で販売し、徐々に顧客を増やしていきました
8.現在は自社で企画した家具も多数。服部家具センターが信頼する工場で製造しています

2

3


1

1.研修や試験などで、商品知識を身につけたスタッフが接客。家具選びに困ったときは、良いアドバイスがもらえます 2.3.スタッフがコーディネートした家具。部屋に置いた時のイメージが沸くよう、イメージボードも展示しています 4.希少な一枚板も展示。こだわり抜いた一品から選べます 5.本店の1階は机などリビング家具、2階はベッドなど寝室用家具が並びます。豊富な種類から、求める家具が見つかるはず

5

4

質・価格・接客で信頼される店づくり

服部家具センターのモットーは「お客様第一」。顧客に信頼される店づくりを心掛けています。大切にしているのは、対面販売であること。「ネット通販で気軽に買い物できる時代ですが、長く使う家具は納得するまでお話をしたい」と松吉副社長はいいます。コミュニケーションを深めて顧客と信頼関係を築き、安心して購入してもらうのが狙いです。そのため社員は、洗濯ができる素材か、水拭きできるかなど、顧客の要望に沿った提案ができるように、商品知識を習得しています。購入後「的確なアドバイスをいただけた」と喜びの言葉を受けることもしばしば。

「一般的な家具店の倍はあるので」と誇る、豊富な品ぞろえも信頼の一つです。日本製と海外製をバランスよく仕入れ、選択の幅を広げています。「日本でつくられたものは日本で使ってもらいたいという地産地消の思いがあり、国産の商品を充実させています。丁寧につくられた国産品は、長く使えるのが特徴です」。もちろん海外製も、工場に足を運び、製造過程を視察。自信を持って紹介できる商品のみ販売しています。

「地域に密着した店になるのも、重要です」と松吉副社長。身近な家具店という親しみやすさは、信頼につながると考えています。「港区に創業してから53年経った今も、本店に訪れる人は絶えません。『自分のまちの家具店』と支持いただいていると、感じています」。

さらなる新事業に挑戦 100年続く企業を目指し

変革を恐れず、さまざまな戦略で成長してきた服部家具センター。近年は吹上ホールで開催している、「インテリアビッグバザール」に力を入れています。「有名メーカーを中心に、ベッドやリビング・ダイニング商品を豊富にそろえ、名古屋のお客様に向けて展示販売をしています」。特別価格だけでなく、同時購入割引や購入特典も豊富で毎回大盛況です。

今後は家具のレンタルやコントラクトマーケット（ビジネス向け市場）への進出や国産家具の魅力発信、海外直輸入開発も同時に進めて、さらなる飛躍を目指します。「たくさんの方に支えていただいて、今日まで歩んで来ました。目標は100年続く会社。より良い家具を買って喜んでいただけるよう、いつまでもお客様に寄り添う会社でありたいです」。

株式会社服部家具センター
取締役副社長
服部松吉さん

株式会社服部家具センター
代表取締役社長
服部光吉さん

information

株式会社 服部家具センター 本店

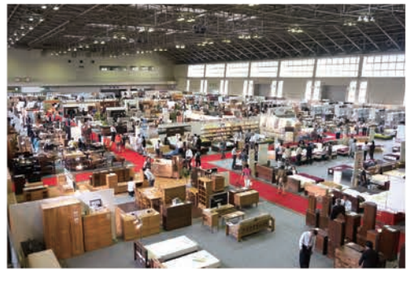
名古屋市港区六軒家511 TEL 052-302-0001（代表）

第47回インテリアビッグバザールIN吹上ホール

12月 7日（金）16:00～20:00
8日（土）10:00～20:00
9日（日）10:00～19:00
10日（月）10:00～17:00

※当日は混雑が予想されます。スムーズな入場のため、フリーダイアルかウェブサイトにて事前申し込みを受け付けています

TEL 0120-758-122 http://hattori-kagu-center.jp/



（上）53年間、港区に本社を構えています
（右）インテリアビッグバザールIN吹上ホールには50以上のメーカーが集結します

文／加藤優花　写真提供／株式会社服部家具センター　写真／伊藤寛泰　デザイン／Beanstalk 白石純也